

# たどつのもかし

Vol. 15

☆国史跡「天霧城跡」の奥白方側登山口に説明看板が設置されました☆



新たに設置された看板には、国指定史跡「天霧城跡」の概要や、城の縄張り図が紹介されています。また国際化に対応するために英文での説明も付加しています。

天霧城は、さぬき市にある雨滝城跡とあいまって、「東の雨滝、西の天霧」と並び称される。県内屈指の山城の一つです。

城主である香川氏は、14世紀後半に讃岐の守護細川氏とともにやってきた武将の一人です。最初は多度津・本台山（多度津山：現在の桃陵公園付近）に居館を構えました。その後、西讃岐守護代になった香川氏が戦いの時の詰城として天霧城を築城しました。

中世の山城は、戦いに対する備えを持った在地の武将の居館等も含めると、その数は香川県下だけでも400カ所近くが確認されています。その中で天霧城はその自然地形を利用し、実戦的な縄張り（城の中の配置）をした四国屈指の山城といえます。

今までは弥谷寺からと吉原からの2ルートには説明看板があり、多度津町側のルートには説明看板がありませんでした。これを期にぜひ一度、町内の中世山城に目を向けてみませんか？